

# チューニングカーはギャルの ハートも刺激する

福原綾子チャン(19)

↓CA18DET ステンレスEXマニホールド  
TO3G改 HKSレーシングウエストゲート  
EVC 過給圧1.2kg/cm<sup>2</sup> F-CON+GCC  
II メインインジェクター450cc/min×4 HK  
S60+アルミナライズマフラー



シルビアをドライブするギャル。とってもオシャレである。横を走ってちゃ、ついつい声をかけたくなってくる。ところが、このシルビアがとっても速いのである。声をかけるどころか、ブッちられるハメになるのだ。

綾子チャンのシルビアはターボ系のチューニングにより、パワーは300ps。ノーマルの走りには満足できず、徐々にチューニングを始め、現在の仕様にビルトアップされたわけ。



## コイツが好きだから 毎月10万円のローンも 恐くない

佐藤祐治クン(24)

誰だってイイ、クルマに乗ってカッコよくドレスアップしたいよね。だけど一番ネックになるのがお金。お金がなくっちゃ、どうしようもない。でも強い味方がローンなのだ。

この佐藤クン、約3年前にスカイラインGTSを買った時から、ローンとの長いつき合いが続いている。

まず、約300万円のスカイラインGTSは150万円の頭金を入れて、毎月5万円のローン。そしてそれが終わる頃、いよいよドレスアップのローンが始まる。まずはデフィーメ



ツシュ757+ピレリーピ600、フジツボマフラー、インパルスタビライザー、HKS2.4リッターキット。これらの総額は約160万円で毎月7万円のローン。このローンもつい最近、終わり、現在はレカロCSE×2(約43万円×2)、スピーカー16個を配したナカミチのオーディオシステム(約100万円)のローンを毎月10万円支払っている。

ちなみに佐藤クンの給料は手取りで14万円。

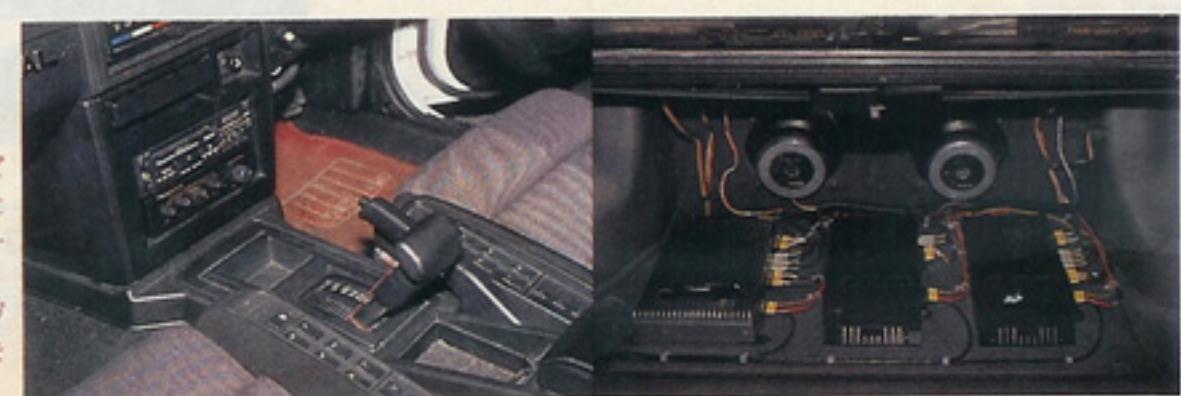
一の横に乗ってるうちに、おもしろくなり、彼氏と相談して乗りやすくて速いクルマにチューニングしたわけだ。

チューニングは男だけの文化ではない。ギャルをも夢中にさせるのだ。



➡ドライバーシートのみならず、ナビシートにまで電動のレカロCSEをセレクト

➡計16個のスピーカーを配したナカミチのオーディオシステム。今後、さらにグレードアップを予定している



ということは毎月4万円で生活しているわけ(ボーナスもある)。現在は会社の寮生活なので生活費は安くつき、ガソリン代にしても、それほど走り回るわけでもなく、毎月1万円くらい。休みの日はクルマを洗車しているか、カーショップに遊びに行っている。

このローンが終われば、次は足回りとオーディオのグレードアップにまた毎月10万円のローンを組むんだって。